

## 千葉県銚子沖に計画されている風力発電施設の景観シミュレーション図の公表について

### 《解 説》

千葉県銚子沖に風力発電施設が計画されていますが、数字だけでは、その施設の大きさはすぐにはなかなか実感できないものです。そこで、一つの日安として、景観シミュレーション図を作成しました。事業の「促進地域」に 31 基の風車を均等に割り振り、相当する高さにして配置したものです。建設位置は公表されていませんし、シミュレーション図は、「地球が丸く見える丘眺望館」からの眺望のみです。あくまで仮に想定したものです。1 点のみからの眺望では不十分なことはいうまでもありませんが、今後は必要に応じて調査が実施されることを希望します。この一帯では、上記の最も眺望のいい「眺望館」から撮影した写真をベースにシミュレーション図を作成しました。作成の前提条件などのデータは p.4 以降に掲載しています。P.2 をご覧ください。黄色線は「促進地域」、赤線で陸地から促進地域までの 1.2km の距離が記されています。赤点に既設の洋上風車があります。水色線で富士山の方向が示されていますが、p.3 の図では、水平線の右端に富士山の位置が示されています。ご確認ください。

日本イコモス国内委員会では昨 2019 年 12 月 26 日に「銚子沖風力発電施設建設に対する懸念表明」によって、歌川広重に描かれた屏風ヶ浦（現国指定文化財）、日本遺産、国定公園、ジオパークが関与する銚子沖の景観を一変させるのではないかという憂慮を公表してきました。今年 2020 年 6 月 29 日には、銚子市の洋上風力推進室のみなさんと、8 月 4 日には同市の文化財ジオパーク室文化財班のみなさんと意見交換をしてきました。さらに 10 月 20 日には銚子市長との会見で質問書を提出し、後日に回答もいただいています。ただ、こうした巨大事業が実施されることに市民、国民レベルでどれほど実感をもって受け入れられているのかという懸念は解消できていません。地上 333m の東京タワーの 2/3 に及ぶ高さの風車が 31 本建つという状況がどのようなものか。これは一度、景観シミュレーション図を作成し、公表することが必要と感じた次第です。HP でここにアクセスしていただいた方に感謝します。もし、差し支えなければ、ご意見をいただけたら幸いです。

2020 年 12 月 26 日

日本イコモス国内委員会

第 13 小委員会主査 赤坂 信

([makotoakasaka1@gmail.com](mailto:makotoakasaka1@gmail.com))